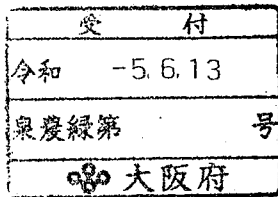


産業廃棄物処理計画書

2023年 5月 31日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪市淀川区西中島4丁目1番1号  
日清食品大阪本社ビル5階  
氏 名 株式会社ニッキーフーズ  
代表取締役 社長 楠本 一人

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-7668-3737

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニッキーフーズ泉佐野工場
事業場の所在地	大阪府泉佐野市住吉町28番地13号
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	売上高：¥2,713,699,000 -
③従業員数	164名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>■動植物性残渣 生産ロス→収集運搬→乾燥→堆肥化</li> <li>■有機性汚泥 工場排水→排水処理施設→脱水→収集運搬→乾燥→堆肥化</li> <li>■廃プラスチック類（包装資材） 商品廃盤・リニューアル→収集運搬→破碎→減容固化→固形燃料化</li> <li>■廃プラスチック類（備品・パレット等） 備品破損→収集運搬→破碎→焼却→セメント燃料化</li> </ul>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	排 出 量	289.6 t	2188.5 t
	(これまでに実施した取組) ■動植物性残渣 生産トラブル削減に向けた、設備メンテナンス計画の実施 ■有機性汚泥 オーバーフロー水の循環による、工場排水量の抑制 ■乾電池 充電電池への置き換え ■蛍光灯 LED電球への置き換え		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	排 出 量	285 t	2175 t
	(今後実施する予定の取組) ■動植物性残渣 生産トラブル削減に向けた、設備メンテナンス計画の実施 ■有機性汚泥 オーバーフロー水の循環による、工場排水量の抑制		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 保管場所を分けて分別実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 保管場所を分けて分別実施

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（ 2022 年度）実績】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
9.2 t	0.03 t	0.05 t	0.19 t
【目標】			
廃プラスチック類			
5 t			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	1896.7 t
(これまでに実施した取組) 脱水汚泥機で脱水を実施			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	1885 t
(これまでに実施した取組) 脱水汚泥機で脱水を実施			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（ 2022 年度）実績】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
- t	- t	- t	- t
【目標】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（ 2022 年度）実績】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	全処理委託量	289.6 t	291.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	289.6 t	291.8 t
	再生利用者への処理委託量	289.6 t	291.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用を行い、優良認定業者へ処理委託を行った。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（ 2022 年度）実績】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
— t	— t	— t	— t
/			
【目標】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
— t	— t	— t	— t
/			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（ 2022 年度）実績】			
廃プラスチック類	乾電池	蛍光灯	廃油
9.2 t	0.03 t	0.05 t	0.19 t
6 t	0.03 t	0.05 t	0.19 t
3 t	— t	0.05 t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
/			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	全処理委託量	285 t	290 t
	優良認定処理業者への処理委託量	285 t	290 t
	再生利用業者への処理委託量	285 t	290 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用を行い、優良認定処理業者へ委託を行う。		
※事務処理欄			



(第5面)

【目標】			
廃プラスチック類	—	—	—
5 t	— t	— t	— t
3 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

